

町の業務委託が始まる



協働のまちづくりが一歩前進

まちづくりサポートセンターを開所して3年目、ようやく町からの業務委託を受けられるようになりました。町でも外部団体に出した、初めての業務委託です。

この事業は、市民活動のことを改めて勉強し、新たな活動に繋げ、町の活性化を図ろうと企画しました。講師は、大網白里町のまちづくりに欠かさない、関谷昇先生(千葉大法経学部准教授)です。また、出会いフォーラムに参加した団体には、少額ながら活動資金が出ます。

新しい自分を発見するチャンスです！

あなたもトライしてみませんか？

きずな

第23号

平成23年5月29日

まちづくりパワーアップ出会いフォーラムの日程表

6月25日(土) 13:30～16:00	市民活動講座1 「地域活動の意義と役割」
7月9日(土) 13:30～16:00	市民活動講座2 「活動内容と展開の仕方」
7月24日(日) 13:30～16:00	出会いフォーラム 市民活動体験申し込み
9月17日(土) 10:00～12:00	交流サロンに参加
11月19日(土) 10:00～12:00	交流サロンに参加
1月14日(土)	活動実施報告会

講師 関谷 昇 氏
(千葉大学法経学部准教授)



これまでの交流サロンの様子

交流サロン開催予定表

9月17日(土)
11月19日(土)
1月14日(土)
3月18日(土)

日頃、活動に行き詰まりを感じている方、こんな活動をしたいと考えてはいるが活動に踏み切れないでいる方、活動の仲間を増やしたいがなかなか増えないとお悩みの方、ぜひこの機会にお悩み解決。市民活動講座から参加しませんか。また、地域デビューをしたいのに躊躇している方、幅広く活動された方など、出会いフォーラムであなたにぴったりの活動をお探しください。楽しい活動に出会える事でしょう。

交流サロンで団体相互の交流を

この町にはいろいろな分野の団体が活動しています。まちサポでは以前から、それぞれの団体の相互交流をはかるため、奇数月に交流サロンを開催しています。相互の考え方を理解し共有する事で、それぞれの活動の活力となっています。

今年度の交流サロンは、まちづくりパワーアップ出会いフォーラムと連動して行うように計画しています。ぜひ、ご参加ください。

研修視察報告

オープンガーデン 大網白里



ガーデンシティーふかや構想 オープンガーデン花仲間を訪問

皆さんご理解いただけられているとのこと。そういえば、見学の途中、バスから下りるときに学校帰りの子ども達と遭遇「オープンガーデンでしょ。」と話していたことを思い出しました。

緑の王国では、ガーデンシティー推進室の次長から、市の構想と、オープンガーデンの成り立ちなどのお話を伺いました。そのお話ぶりから行政の意気込みも感じられ、これから活動する私たちに勇気を与えてくださいました。「他のまねをするのではなく、深谷は深谷らしく、大網は大網なりの、オープンガーデンにしていくのがいいんです。頑張ってください。私も見に行きますよ。」と、話されたことが印象に残りました。

オープンガーデン開催中

現在、オープンガーデンの仲間の2件でお庭を公開しています。

季美の森の北風ガーデンと経田の今井さんが、どちらもバラを中心としたお庭を公開してくれ、たくさんの方がお庭を見に訪れています。北風ガーデンは、二九日までですが、今井さんは三一日まで公開していますので、訪ねてみてください。たくさんのお花とバラ

五月十一日「オープンガーデン大網白里」では、オープンガーデンの先進地である埼玉県深谷市を訪問、花仲間のメンバーのお庭を8件、深谷市が管理をしている「緑の王国」を見学しました。
当日はあいにくの雨。それでも皆さん笑顔でお迎えしてください、個性あふれるお庭を案内してくださいました。庭造りのこと、お花の増やし方など、こちらのメンバーの問いかけに丁寧にお答えいただきました。オープンガーデンの一番の心配はご近所の方に迷惑がかかることです。そこをどうされているのかお聞きしたら、行く前にご挨拶するだけで、

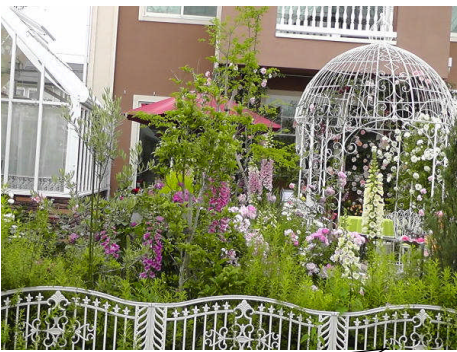


あみくん、さぽちゃんの 大網白里★あれこれ

先日、大網の「クラフト想」の松浦さんが、ご自宅でチャリティーバザーを開催しました。ご自宅の陶芸工房にて、長年創作活動を続けてきました。普段は、欲しいと頼まれなければ販売はしないということですが、今回の東日本大震災では「何かしたい」という衝動にかられ、コレクションの大放出に繋がりました。5月3・4・5日の3日間だけでしたが、大勢の方が訪れ、総額12万6千円ほどになり、赤十字に募金されたそうです。私も、すてきな作品に目移りしながら、いっぱい購入してきました。写真は、茶香炉とミルクピッチャー。食卓の上に花を生け、お茶の香りを楽しんでます。



の香りに包まれて、オーナーのお話をお聞きしていると時のたつのも忘れて、気分もリフレッシュできます。来年はメンバー全員の庭を公開出来るように、今回の視察を参考に計画を進めています。



北風ガーデン（季美の森）



公開中の今井さんのお庭（経田 バイパス沿いに見えます。）

郷土の歴史-1

古山 豊 (郷土史研究会会長)

「元禄の巨大地震と大津波」(その1)

「超巨大地震・東日本大震災」が発生して3ヶ月となりました。未曾有の災害であったため死者・行方不明者の数も確定出来ず、日ごとの統計が変わっています。23,000人(警視庁のまとめ)を超えそうです。115年前、明治29年6月15日発生 of 「三陸地震津波」では、約22,000人の犠牲者が出ています(合掌)。自然の驚異を思い知らされたと共に、「福島第一原発事故」など人間の思い上がりや判断ミスが惨事拡大となっていることは皆さんもご存じのとおりです。

さて、「地震は一度あった場所で必ず繰り返して発生する」これは地震学者たちの常識です。房総半島に甚大な被害を及ぼした大地震・津波に「慶長地震」(M7.9)、「延宝地震」(M8)、「元禄地震」(M7.9~8.2)、「関東大震災」(M7.9)などがあります。特に大きな被害を与えたのが元禄地震でした。この地震は、徳川五代将軍綱吉の治世、赤穂浪士討ち入りの翌年元禄16年11月22日夜中から23日(西暦1703年12月31日)にかけて発生した地震・津波です。茂原市鷺巢の鷺山(じゅせん)寺には大きな「元禄津波供養塔」(写真)があります。台座には津波により溺死した檀家村々と死者数が刻字されています。その中に大網白里町四天木(村)の死者二百五拾人と記されています。この地震から今年はずでに308年目となります。(つづく)



本場に、今回の地震で『夫婦の会話』の重要性を感じた次第です。
宇田一正 ▼日赤防災ボランティア・交通安全推進隊に所属、第二の人生を楽しんでいます。献血回数、二五六回がご自慢。富田在住。

行って来ました、被災地に

先日、岩手の被災地に行つて来ました。気仙沼・陸前高田・南三陸町・石巻などバスの中から悲惨な状況を見てきました。海なんて見えないのに、少しでも低い土地は、ことごとく被害にあっています。テレビで見ているより衝撃的です。言葉も出ません。未だに水もでません。不便な中で生活を強いられています。それでも前向きに頑張っている方達に、逆に元気をいただいで来ました。そして、災害から助かるためのノウハウを学ばせていただきました。「この町に見合った逃げ方を考えなければいけない。」お話を伺いながらそう感じました。そして、地域の繋がりがいかに大切か、住民として考えなくては行けないことがたくさんあると思えました。

石巻の町中は、未だに片づいていないところがありました。



宮城県名取市。海から8キロ時点。何もありません。遠くに瓦礫の山が見えました。

夫婦の会話 宇田 一正

あの三月十一日から、約2ヶ月余りが過ぎました。近くを車で走っていると、屋根瓦が落ちた家、屋根にブルーシートを掛けてある家等が散見されます。

我が家では地震当日は大変でした。当日、私は経田交差点で交通整理をしていました。妻が一人家におりました。暗くなり懐中電灯の生活になりましたが、懐中電灯の電池が古くて、点灯しても、明かりが弱く役に立ちません。予備の電池の在処は、私は知っておりませんが、妻には教えてありません。

(私は知っているつもりと思っていました。)結局、妻はお隣さんから借用する始末。また、夜釣り用のランプがあることなど、すっかり忘れており、電気が開通してから思い出してどうしようもありません。でも、次女(神奈川県綾瀬市在住)から、車よりとれるコンパクト器具を借り、こんな便利な物があるのかと思ひ、びっくりしました。

